第1回まちづくり協議会の様子をご紹介します！

令和7年3月に第1回まちづくり協議会を開催しました。協議会委員が初めて顔を合わせ、これからの活動に向けた意見交換を行いました。当日の実施概要と意見交換の様子をご紹介します。

《第1回まちづくり協議会　実施概要》

日程：令和7年3月2日（日）
場所：当代島公民館　参加人数：33名

〈当日のプログラム〉
1. まちづくり協議会の運営について
2. まちづくり方針の概要説明と住民主体のまちづくりの事例紹介
3. 意見交換

意見交換の様子をお届け！

まちの資源や課題、取り組んでみたいことなどについて、ワークショップ形式で意見交換と発表を行いました

〇市道第1-9号線（太源通り）沿いやバイパスの歩道が狭いので、歩行空間の改善が必要！
〇かまどベンチや簡易トイレ等の防災資源を目にする機会があると、意識向上に繋がりそうだ。
〇お店が少ないので、空き家を活用してカフェやコミュニティスペースにしては？
〇フリーマーケットなどのイベントを開催し、若い世代を呼び込みたい。日常の地域の交流が、防災にもつながる！

《発行・お問い合わせ》
浦安市　都市政策部　市街地整備課　旧市街地整備係
TEL：047-351-1111（内線：17853）　E-mail：shigaichi@city.urayasu.lg.jp
編集協力：株式会社マヌ都市建築研究所

当代島　まちづくり

防災まちづくりの情報は、浦安市HPでご覧ください！

令和７年３月　発行：浦安市

当代島地区防災まちづくりだより 第5号

当代島地区まちづくり協議会を設立しました！

市では、令和5年度に策定した「当代島地区防災まちづくり方針」の具体化に向けて、「防災まちづくりプラン」の検討を住民参加で進めるため、まちづくり協議会を設立しました。今後は、まちづくり協議会を中心に、住民と行政が連携して防災まちづくりに取り組んでいきます。

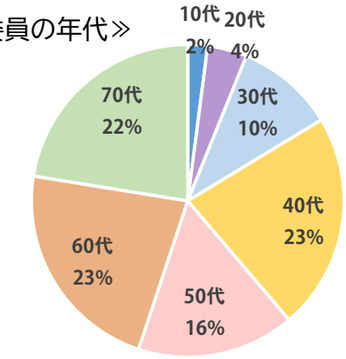
1 まちづくり協議会の委員構成

協議会委員は、住民公募と団体推薦による49名で構成されています。年代は、10代～70代と幅広く、各世代の意見をこれからのまちづくりに反映できるよう検討を進めていきます。

地区住民からの公募 33名
地縁団体からの推薦 16名

推薦団体
第8区自治会 / 第九区自治会 / 消防団
社会福祉協議会北1支部 / 青葉幼稚園PTA
浦安小学校PTA9区子ども会 / 当代島子ども会

≪委員の年代≫



※公募は定員を上回る応募がありましたが、住民の皆さんのまちづくりに対する意欲や、住民参加で進めたい市の考えから、応募者全員を委員にお願いしました。たくさんのご応募ありがとうございました。

2 まちづくり協議会の活動内容

まちづくり協議会では、「防災」に加えて、「まちの魅力向上」や「身近な課題解決」などに向けて、意見交換やまちづくりイベントの開催などの活動をしていきます。

令和6年度　**協議会の設立**
公募委員の募集・事前説明会の開催

令和7年度　**協議会の活動開始**
テーマごとに検討し、まちづくりの進め方を決める

令和8年度　**防災まちづくりプランの策定**
具体的なアクションに向けてプランをまとめる

当代島地区まちづくり協議会での意見交換の様子

まちづくり協議会設立に向けた事前説明会を開催しました！

令和6年12月20日と22日に、まちづくり協議会の設立に向けた事前説明会を開催しました。

第1部では、防災まちづくり方針の概要やまちづくり協議会の目的と活動内容について説明し、第2部では、まちづくりの専門家を講師にお招きして、住民主体のまちづくりの事例紹介をしました。2日間で延べ30名の方にご参加いただきました。

事前説明会でお話しした住民主体のまちづくり事例について紹介します！

事例① 魅力向上のまちづくり

内山征氏（日本都市計画家協会/（株）アルメック）から、地域主体の魅力向上まちづくりの事例として、①平塚駅周辺地区、②町田市玉川学園地区・川崎市月見台自治会の住宅地のまちづくり、③茅ケ崎市の防災“も”まちづくりWSについて紹介がありました。
今回はみなさんに平塚地区の事例をご紹介します。

平塚駅周辺地区の事例

平塚駅周辺地区では、商店街の衰退という課題を解決するため、まちのPRや集客などに関する4つのビジョンを策定し、長期的な視点に立って段階的にまちの活性化に取り組んでいます。

第1段階では、地域住民で構成される平塚まちなか活性隊による賑わいイベントの開催や交流拠点づくり等の活動を通して、まちの活力・賑わいの兆しがつくられてきました。

現在では、若い世代や地域の様々な人を巻き込み培ってきた地域力を活かし、まちのリニューアルが本格化しています。

ステップアップで活性化
まずは賑わい・活力の向上

道路上に遊び場や休憩スペースを設置！

講師からのメッセージ

近年、道路や公園・広場の利用に関する考え方が変化し、制度的にも空間を使いやすくなってきました。オープンスペースを有効活用することで、賑わいが生まれ、まちの魅力向上にもつながります！

事例② 防災まちづくり

神谷秀美氏（日本都市計画家協会/（株）マヌ都市建築研究所）から、防災まちづくりの事例として、葛飾区堀切地区について紹介がありました。

葛飾区堀切地区の事例

堀切地区は密集市街地であり、大地震が発生した際に延焼火災で大きな被害を受けることが想定されている地域です。まちづくり協議会の防災部会では、震災復興模擬訓練を5回のテーマに分けて実施した結果、5つの視点が重要であると再確認されました（右下の図）。それらの成果を反映した堀切地区まちづくり構想が区に提案され、具体的なルールの策定が行われました。住民が主体的にまちの計画策定に関わることが重要であるという気づきが得られ、現在も、まちづくり協議会による活動が継続しています。

講師からのメッセージ

当代島地区は、歩行空間の改善に関心が高く、防災“だけ”のまちづくりはふさわしくありません。日頃の地域活動が災害時にも役立ちます。遊び心を持って取り組みましょう！

【堀切地区 「防災まちづくり」で重要な視点】

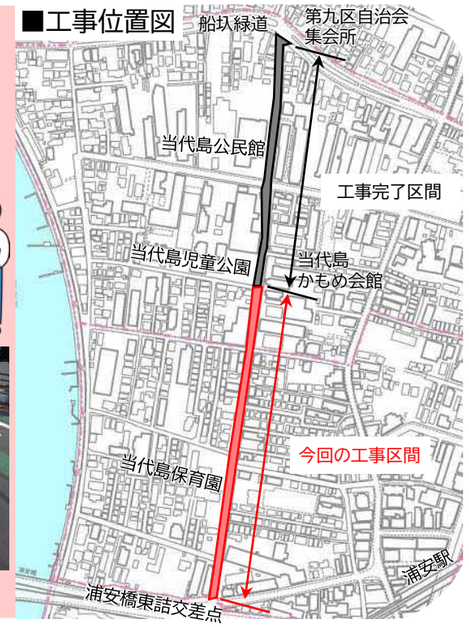
①被災しても「仮設市街地」をつくる必要のないまちづくり
②今のまちの姿を残しつつ、災害に強い構造へ改善
③個人の安全や他地区の安全が、まち全体の安全につながる
④防災効果の高い整備を、優先的・集中的・重点的に進める
⑤震災後も、住民が地域にとどまれるような住まいづくり

逃げ地図作成による避難の検証も！　※逃げ地図とは…避難にかかる時間を色分けで可視化した地図

まちづくりトピックス

市道第1－9号線（太源通り）の改良工事を当代島児童公園から浦安橋東詰交差点までの区間で行っています。
工事は夏ごろに完了予定です。

■主な改良内容
①防護柵を車道側に新設
②側溝の蓋をリニューアル
③センターラインの廃止
④自転車の通行位置と方向を示す矢羽根の整備

工事が完了した当代島児童公園前

■工事位置図